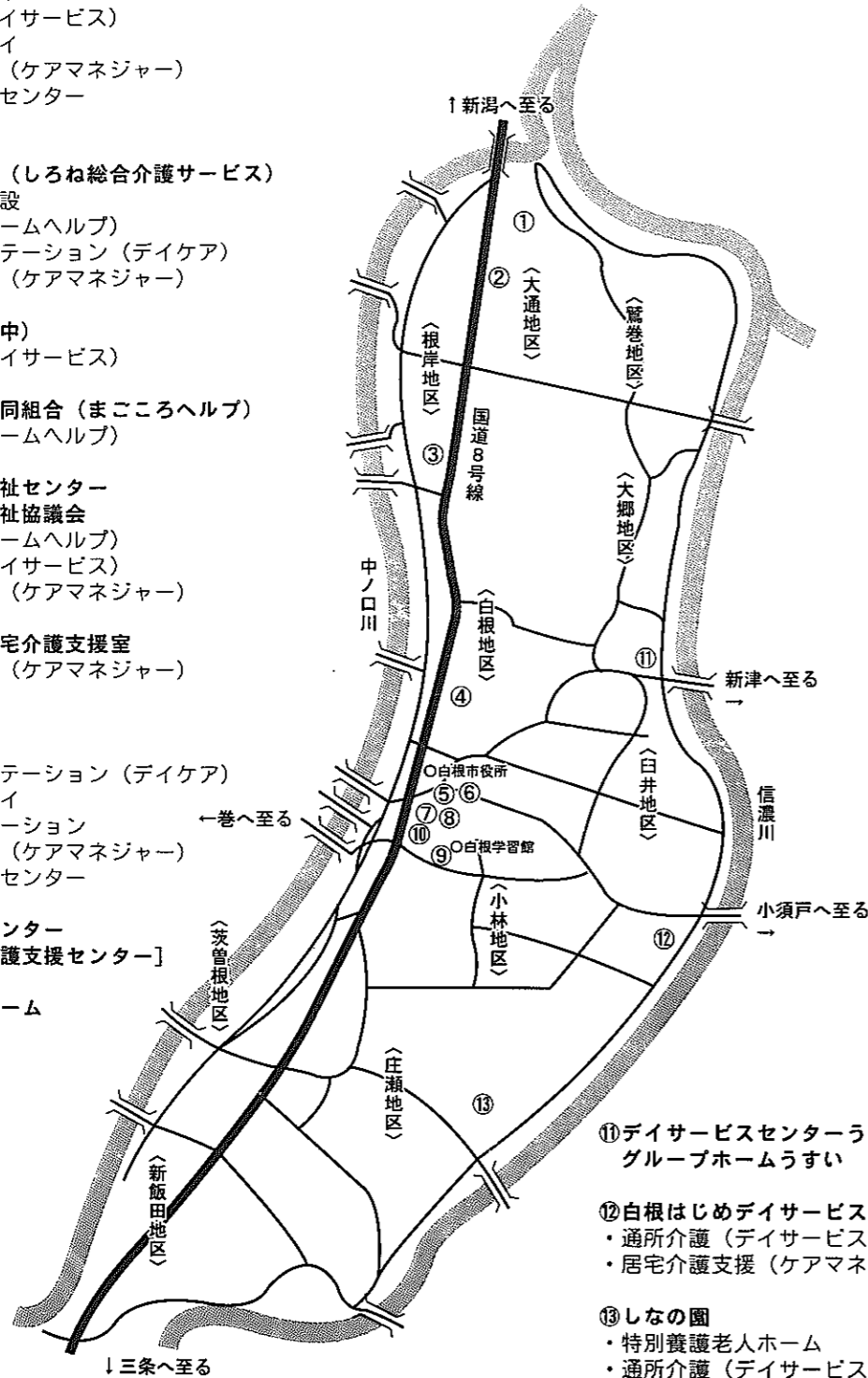


白根市の介護保険サービス・高齢者福祉施設

- ①白根やすらぎの里
 - ・特別養護老人ホーム
 - ・通所介護（デイサービス）
 - ・ショートステイ
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
 - ・在宅介護支援センター
 - ・ケアハウス
- ②白根大通病院（しろね総合介護サービス）
 - ・療養型医療施設
 - ・訪問介護（ホームヘルプ）
 - ・通所リハビリテーション（デイケア）
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
- ③翠風園（建設中）
 - ・通所介護（デイサービス）
- ④白根市農業協同組合（まごころヘルプ）
 - ・訪問介護（ホームヘルプ）
- ⑤白根市老人福祉センター
- ⑥白根市社会福祉協議会
 - ・訪問介護（ホームヘルプ）
 - ・通所介護（デイサービス）
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
- ⑦エシックス居宅介護支援室
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
- ⑧みずき苑
 - ・老人保健施設
 - ・通所リハビリテーション（デイケア）
 - ・ショートステイ
 - ・訪問看護ステーション
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
 - ・在宅介護支援センター
- ⑨白根市保健センター
〔白根市在宅介護支援センター〕
- ⑩しろねデイホーム



- ⑪デイサービスセンターうすいグループホームうすい
- ⑫白根はじめデイサービスセンター
 - ・通所介護（デイサービス）
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
- ⑬しなの園
 - ・特別養護老人ホーム
 - ・通所介護（デイサービス）
 - ・ショートステイ
 - ・居宅介護支援（ケアマネジャー）
 - ・在宅介護支援センター

みんなで支える介護保険

平成15年度からの計画づくりがスタート



介護を社会（＝地域）全体で支えようと始まった介護保険制度。市では、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で生活できるように、目標（計画）を作って第一歩を踏み出しました。

今年、制度が始まって初めて計画の見直しを行います。また、介護保険料も併せて見直しとなります。

進んだサービスの利用

多くの人が長生きできるようになった現在、介護は避けて通れない問題となってきました。

介護が必要な人の心身の状態が重くならないよう、また、介護する人の不安や負担を軽減するために、社会全体で支えることを目的に始まった介護保険は、サービスの充実などにより欠かせない制度となってきました。

平成十一年度までの福祉制度では、市とサービスを利用する本人や、家族との相談によりサービスを利用していました。介護保険制度が始まった後は、本人や家族などの意向を基に、ケアマネジャーと相談しながら、サービスを利用できる方法に変わりました。

どんなサービスが必要かを、相談しながら利用できるという制度が徐々に定着し、また、利用できる施設が増えてきたことにより、サービスを利用する人も増加しています。そのほか、介護保険制度が始まる前にはなかった、住宅改修費の給付も受けられるようになり、手すりの設置や床段差の解消など、自宅で生活するための環境づくりが、手軽にできるようになりました。

平成15年度からの計画づくり

市では、今後の計画づくりの資料とするため、平成十三年十二月に介護保険の認定を受けている人のうち、居宅で生活している人を対象に、利用しているサービスの内容や希望についてアンケート調査を実施しました。

回答した人の九〇%以上が「在宅で介護を受けたい」と希望しています。また、サービスの利用に関する調査では、訪問介護などすべてのサービスで現在利用している回数よりも、「今後は利用回数を増やしていきたい」と考えている人が多くなっています。

この意向を踏まえ、居宅での生活を可能とする、介護サービスの充実について検討を行っていきます。

介護保険・高齢者福祉

3年間で取り組んできたことは

- 施設整備では・・・
- デイサービスセンター（3カ所）
 - グループホーム（1カ所）
 - 特別養護老人ホーム（1カ所）
 - 療養型病院（1カ所）
 - ケアハウス（1カ所）
 - デイホーム（1カ所）
 - 在宅介護支援センター（1カ所）

- 地域で支えるために・・・
- 痴ほうの高齢者を介護している人の集い
 - 一人暮らしや高齢者のみの世帯を訪問
 - 小林地区での地域づくり懇談会
 - ボランティアの育成
 - 「地域の茶の間」の開催
 - 転倒予防など介護予防事業の展開